

令和8年度 第1回 学校運営協議会 議事録

時間：令和8年5月14日(木) 15:45～17:00

場所：神奈川県立相模原城山高校 会議室

【出席者】(以下敬称略)

学校運営協議会委員

- ・大石 進 横浜リゾート&スポーツ専門学校長
- ・山田 裕康 相模原市立中沢中学校校長
- ・鈴木 満博 相模原市立広陵小学校校長
- ・安西 千秋 城山自治会会長
- ・高野 朝枝 相模原市立城山公民館館長
- ・鶴井 正幸 相模川水系ダム管理事務所所長
- ・高橋 哲也 神奈川県立相模原城山高等学校 PTA 会長
- ・樋口 一孝 神奈川県立相模原城山高等学校校長

本校職員

- ・瀧川 美樹 神奈川県立相模原城山高等学校 副校長
- ・太田 憲宏 同 教頭
- ・郡司 吉和 同 事務長
- ・後藤 南津恵 同 総括教諭(教務グループ グループリーダー)
- ・瀬古 千鶴 同 総括教諭(進路グループ グループリーダー)
- ・近藤 尚 同 総括教諭(生活グループ グループリーダー)
- ・佐伯 実穂 同 教諭(生徒会グループ グループリーダー)
- ・茂木 拓郎 同 総括教諭(広報グループ グループリーダー)
- ・轡田 寛 同 総括教諭(総務グループ グループリーダー)
- ・舟久保 さくら 同 教諭(総務グループ 記録担当)

【欠席者】

- ・小玉 敏也 麻布大学教授
- ・伊藤 康宏 学校法人岩崎学園マーケティング・教育事業創造本部本部長

【議事】

1. 開会のことば(瀧川)
2. 委員選出 (瀧川)
 - ・互選により会長に大石委員を、副会長に樋口委員を選出した。
3. 会長の挨拶(大石)

4. 校長あいさつ(樋口)

〈以下、大石会長の司会により進行〉

5. 出席者紹介

・自己紹介を行った。

6. 今年度の取り組みについて(樋口)

グランドデザインは昨年度と同様である。DX ハイスクール指定校、プログラミング教育研究推進校として ICT 利活用を教育活動全体で取り組みたい。

7. 学校教育計画(樋口)

資料 P 4 ～ 5 をもとに説明を行った。

8. 令和 7 年度学校評価(樋口)

資料参照

9. 令和 8 年度学校目標(樋口)

資料参照

- ・教務グループ ロイノートの活用を図っていく。
カリキュラム検討委員会を多く持ち、カリキュラムについて検討していきたい。
ICT の研修会を行い、学校全体で ICT を活用していきたい

〈質問〉(大石) 仕事量は減ったか。

〈回答〉(後藤) 新しいものを覚える点からすると、減っていないかもしれない。

- ・進路グループ 進路ガイダンスや小論文講座を行い、生徒の進路意識を高めたい。今年度は 2 年生の内から小論文対策を行い、保護者にも最近の進路情報を届けるため、保護者対象の進路説明会も早いうちに行う。実力テストは 9 月に行う。

〈質問〉(大石) 保護者対象の進路説明会には、保護者はどのくらい参加するか。

〈回答〉(瀬古) どの年次も進路意識が高く、参加率が高い。

- ・生活グループ 登下校の巡回など手厚く交通安全指導を行いたい。交通安全の標語を入れたクリアファイル作成しようと考えている。PC 部の協力のもと、QR コードから交通安全を啓発するような動画や音声等が流れるような仕組みを考えている。少しではあるが 1 年生のヘルメットの着用率が増えている。

〈質問〉(安西) どんな苦情があるか。

〈回答〉(近藤) 都井沢住宅での自転車のマナーについてなどである。

〈質問〉(鈴木) 生徒は AED の場所を知ってるか。

〈回答〉(近藤) 1年次の体育で教えます。

・生徒会グループ 部活動や生徒会で地域連携をしていきたい。部活動研修会を通して、教員も生徒も身体を動かしながら学ぶ機会を考えている。今年からしろやまサマーキャンプを夏休みに足柄で行う予定である。

〈意見〉(高野) 生徒会の生徒に、「高校生が考えるまちづくり」のアイデアを出してほしい。
小・中との連携をどのように行っていくか考えていきたい。

〈意見〉(山田) 地域連携ができればうれしい。

〈意見〉(佐伯) 小学生が高校の体験授業を行う機会を設けるのもよいと考えている。

〈意見〉(鈴木) 部活動（陸上）の指導をしてもらうのもよい。

〈意見〉(高野) 小学校と高校の交流を考えていきたい。

・広報グループ 連携事業により学校案内パンフレットを横浜デジタルアーツ専門学校の学生に依頼した。

・総務グループ PTAとの連携では、生徒も一緒にできる活動をしてきたい。

12. 閉会のことば(大石)

(以 上)